

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
東芝ジーイータービンコンポーネンツ株式会社	取締役社長	山口 秀明	神奈川県	製造業	なし

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年8月6日
-------	-----------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	④	出荷情報等の事前提供	毎月年間出荷計画を見直し、出荷情報等を早めに提供します
2	A	④	梱包情報の事前提供	最新の年間計画に基づき、全月末までに月間梱包計画を提供します
3	A	①	物流の改善	トラック運転者が適切に休憩を取り運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
4	A	⑯	検査方法の適正化	取引先への返品を防止するため検査方法の適正化に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
5	A	⑭	航空輸送から船舶へ	客先納期から適切なLTを持った製造に徹し、納期確保のための航空便使用を極力削減する。
6	A	⑧	出荷にあわせた生産・荷造り	出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
PR欄			当社、自らトラックを所有、自分達で出来る輸送は自ら行っています。	